令和４年度　学校経営報告

東京都立新宿山吹高等学校　通信制

	令和４年度の取組と自己評価				次年度以降の課題と対応策
	柱	教育活動への取組と自己評価	重点目標への取組と自己評価	数値目標等の達成度合い ４年度実績　[　]内は３年度実績	
学習指導	授業力向上	教員・生徒間、生徒同士のやりとり、ICT機器活用、レポート・学習プリント等の活用をとおし、生徒に学習への関心・意欲、思考力・判断力・表現力、社会性を育て、基礎学力を定着させ、アクティブ・ラーニングの実践に取組んだ。	○授業研究、校内研修を行い、特に不登校経験者の多い本校で、授業でのやりとりやペアワーク等を行い、思考力・判断力・表現力、社会性を身に着けさせるスクーリングを行なった。 ○ICT機器の活用方法を研究し、教員間で共有した。	★相互授業見学を全教員が行い、見学報告書のまとめで研修を行った。 ★4月～5月に全教員の授業をビデオ撮影し、各自で授業を振り返り研究を行った。 ★本校で行われた通信制・定時制の若手研修等の研究授業を参観した。 ★通信制の周知を図るため東部相互授業見学データベースに全教員9名が登録した。	▼コミュニケーション力向上のため、授業でのやりとりを進める。 ▼通信制のあるべきスクーリング、レポート添削の在り方を研究する。
	履修率向上 修得率向上	生徒の個々の状況に応じて、年間をとおして最後の最後まで生徒に単位修得をあきらめさせず、組織的に単位の履修・修得等の支援を行った。	○学習状況通知、定期考査後や日常的な面談等をとおし、学習・生活状況を生徒や保護者に連絡して、全生徒の単位の履修・修得率を高めた。 ○毎スクーリング時に「スクーリングかわら版」、毎月「月報山吹通信」を発行した。	★生徒に、個々の状況に応じ、スクーリングへの出席、レポートの提出を促し、保護者等に連絡するなどして、単位修得率は66.5[66.0]％となった。 ★隔週水曜日に「スクーリング個別指導」を行い、何らかの理由で土曜スクーリングに出席できない者を指導し、スクーリングに慣れさせ、土曜スクーリングに出席させる取組を行った。	▼特に年度当初、スクーリングへの出席を促す指導を保護者と連携して行う。 ▼レポート、スクーリングを生徒にあきらめさせずに粘り強く指導する。
	生徒による授業評価	教員の資質を向上させ、生徒の授業満足度を向上させた。	○「生徒による授業評価」を年2回実施し、全教員で授業改善を行った。	★授業満足度96%[95%] 学校評価アンケート回収率 生徒18[19]%　保護者14[14]%	▼スクーリング内容、評価方法等について、生徒の実態を踏まえ共有を行う。
	学力向上	生徒の学力向上を、全校をあげて取組んだ。	★週案(予定表・授業実数及び授業実数累計)、年間授業計画等を作成し、指導した。		
	人間と社会	生徒の地域・社会での活躍の場を広げ、共生社会実現・インクルーシブ教育推進をめざし、「人間と社会」の履修を推進した。		★「人間と社会」のうち4単元を実施し、レポートの指導を行った。 ★認知症サポータ講座、古切手収集、地域清掃、南極観測隊講話等の体験活動を行った。	▼「人間と社会」の演習、体験活動を推進する。
	読書活動推進	司書教諭を中心に、業務委託による図書館運営を行った。	○図書室の利用率向上を図った。読書習慣を身に付けさせ、言語能力を高め、読書率を高めた。	★ビブリオ委員会で、書評合戦参加生徒を支援した。 ★図書室や自習室の活用を促した。 ★年間貸出695[6494]冊(延3746[3748]名)	▼図書室や自習室の活用を更に推進する。
	個人情報管理	成績等の個人情報の管理の徹底と作成の効率化を進めた。	○保有個人情報の紛失防止に取り組んだ。 ○答案等の管理方法を改善した。 ○通信制版成績処理ファイルを円滑に活用した。	★教務部を中心に、成績処理推奨ファイル先行実施校として円滑な活用を行った。 ★都立通信制三連絡会で、通信制ICT化の推進に取組んだ。	▼都立通信制ICT化によるシステム導入を円滑に進める。
生活指導	基本的生活習慣や社会性の確立	生徒の「自己管理能力」を高められるよう、担任・教科担当・生活指導部等からの指導を徹底した。	○都立高校生活指導指針、特別指導の指導計画等に基づき、課題のある生徒に即応し、必要な場合は特別指導を行った。 ○いじめ防止委員会が「いじめアンケート」を3回行い、地域・保護者と連携して学校サポートチームを開催した。	★エントランス指導、校内巡回等でルール・マナーの遵守を促し生徒を把握した。 ★時間を意識して行動させるなど、「都立高校生活指導指針」に基づき指導した。 ★「ＳＮＳ学校ルール」は、「大切なことは直接会って話そう。」など５項目を、定通生徒会が校内に掲示し周知した。	▼職員室、エントランス、ラウンジ等で、生徒に声をかけ、生徒の意欲を向上させる。 ▼「ＳＮＳ学校マナー」を徹底する。
	健全育成 教育相談	健全育成に向けた取組みを推進し、また特別支援が必要な場合は、全員で対応した。	○カウンセラー・担任・生活指導部・相談部・保健室等が、関係機関と連携して、それぞれの役割を担った。 ○いじめ、暴力、器物損壊等には、厳しく対応することを生徒に示した。	★カウンセラーとYSWによる新入生全員面談を、相談部が連携して実施した。 ★7月にYSW、10月にカウンセラー・YSWを講師にした情報交換会を行った。 ★スクーリングを行った日の放課後に、カウンセラー・YSW・相談部が情報共有した。 ★セーフティー教室を3回実施した。	▼カウンセラー、ＹＳＷ、相談部・担任との連携をすすめる。

特別活動・部活動	社会性・協調性の育成	山吹祭(定通合同文化祭)等の行事、学校での発表、部活動、地域貢献・地域交流等をとおし、仲間をつくり、地域と関わり、ルールやマナーを学ぶ機会を得た。 都大会、定通芸術祭(写真・演劇)等で部活が入賞した。日本舞踊部・伝統文化研究会が、山吹町会ミニ盆踊り大会・地域交流館まつりに協力した。日頃から、校内、学校周辺に生徒作品を展示し、温かい学校づくりを進めた。		★ 地域防災訓練等の地域行事に協力し、地域貢献、社会貢献、居場所づくりを促進した。 ★ 各部活動への参加を奨励し、部活動加入率は15[16]%であった。 ★ 体罰防止研修に取組み、年2回教員全員面談を行い、スローガン「その怒り6秒待って」を掲げた。	▼ 地域交流館等との連携により、地域との関わりを深め、自己有用感を高める。
健康づくり	学校保健安全計画 学校保健委員会	学校保健安全計画に基づき、生徒の健康づくりを推進した。学校医を迎え、学校保健員会を2回行った。	○ 生徒の心身の健康の課題を把握し、関係諸機関との連携を図って対応した。 ○ 明るさと潤いのある校内環境の整備を行った。 ○ ゴミの分別を徹底した。	★ 健康診断受診率56[58]%。 ★ 担任・生活指導部・相談部等が、警察・児童相談所・子ども家庭支援センター・病院等と随時に連携した。	▼ 施設検討委員会で、生徒の学習・生活環境改善等について検討を行う。
	健康講話	心身の健康の意識啓発を行った。	○ 健康講話を10月24日に開催した。	★ 健康講話は、集中講話を3回で計7講座実施した。	▼ 健康講話で健康の意識を高める。
	家庭連携	健康で安全な生活を支援した。	○ 生徒の健康について、家庭との連携を進めた。	★ 担任・保健室が連携し、保護者や山吹会との連携を推進した。	
進路指導	進路決定者と卒業生の増加	生徒に自己理解を促し、生徒の可能性を発見し、主体的に進路を選択するよう進路指導の充実を図った。 個々のニーズに応じた補習・講習を行った。	○ 卒業生の増加を目指した。 ○ 定時制の卒業生を囲む会、進路講演会・相談会等に参加した。 ○ 大学・会社訪問等を支援した。 ○ 希望者を対象に校外模試を紹介した。 ○ センター試験の受験を奨励した。 ○ 通信制独自の進学者向け進路説明会を行った。	★ 卒業生　106[127]名 ★ 大学進学率　31[30]% ★ 進路未定率　18[19]% ★ 国公立大１名、早慶上智理大０名、GMARCH5名、日東駒専６名合格 ★ 就職８名内定 ★ センター試験出願者50[37]名	▼ 卒業生　120名 ▼ 大学進学率35% ▼ 進路未定率10% ▼ センター試験出願者50名 ▼ 高認・既卒者の進路状況把握 ▼ 高認での大学受験の支援 ▼ キャリアカウンセラーとの連携
募集・広報活動（地域交流等）	本校の特色の理解推進	本校主催学校説明会、地域や都教育委員会主催の合同説明会等に参加し、本校の通信制の教育活動全般についての広報活動を推進した。	○ ホームページを積極的に活用して情報発信を行った。 ○ 学校案内の工夫改善を更に進めた。 ○ 文部科学省「通信制高校の質の確保・向上に関する調査研究協力者会議」で、通信制高校の教育の在り方について報告した。	★ 本校を目指す生徒に情報を正しく伝え、在校生への情報伝達するため、ホームページを247[246]回更新した。 ★ 学校説明会等参加者数(生徒＋保護者) 11月説明会　89[89]組 ３月説明会　66[138]組 ※世界的な新型コロナウイルス感染拡大防止のため人数を制限した。 ★ 来校や電話による随時の学校案内等で、受検希望者等に丁寧に対応した。 ★ 2学期転学・編入学募集では、前籍校で不登校である場合も、全学年で受検を可としている。	▼ ホームページ更新300回 ▼ 今後も、転入・編入学の応募資格の緩和により、本校受検の機会拡大を維持する。
学校経営・組織体制・経営企画室の経営	組織体制	学校経営計画の実現と円滑な学校運営ができるよう、企画調整会議を中心に様々な取組みを実施した。管理職によるイクボス宣言を行った。		★ 定通は、相互併修、保健、部活動、行事等で連携している。 ★ 働きかた改革に基づき、退勤時刻把握をした。	
	チャレンジ雇用	共生社会実現の推進を図った。		★ チャレンジ雇用を相談部に位置づけ、実施した。	▼ 受入れを継続し、連携して取組む。
	安全管理	安全管理を推進した。	○ 安全管理の一環として、外来者、教職員の明確化を図った。	★ ネームタグを配布し、全教職員で着用を励行するようにした。外来者にはネームタグを着用していただいた。	▼ 教職員は笛付ネームタグ着用を推進する。
	予算執行管理	経営企画室長の下に事務処理を効率的に実施した。自律経営推進予算では、特に一般需用費でのセンター利用率・執行率を高めた。		★ 一般需用費(年度間・執行額ベース) センター利用率　46.2[49.5]% 学校　配付執行率99.4[99.56]% センター配付執行率99.7[99.6]%	▼ 一般需用費センター利用率50%
	経営企画室の経営参画	経営企画室が、学校経営に参画した。	○ 経営企画室が、校内分掌・委員会に関わり、経営に参画した。 ○ トイレの洋式化を進めた。	★ 経営企画室が、学校保健、防災教育推進、補助金審査、入試選考、ＩＣＴ、図書館運営等の委員会に参画した。	▼ 経営企画室が、校内分掌・委員会に関わり、経営に参画する。